

「哲学の授業とICT～理工系の学生のための対話術入門～」 村上 学
「哲学教育におけるICTの活用」 中山 剛史
「遠隔通信を活用した生命倫理の授業」

田坂さつき、峰内 暁世

- ・各種事業への参加募集
- ・大学教職員の職能開発報告
- ・私情協ニュース
- ・賛助会員だより

【大学教育と情報（2011年度No.4）】

- ・巻頭言「教育・研究の改革と情報化」 鎌田 薫
- ・特集「情報と災害対策」
 - 「東日本大震災発生から授業再開までの戦い～東北学院大学～」
 - 「被災時の教育研究用コンピュータシステムの状況と大学の役割について～石巻専修大学～」
 - 「電源不足とあるべきシステム基盤について～桜美林大学～」
 - 「阪神・淡路大震災と甲南学園の対応～「常ニ備ヘヨ」創立者平生夙三郎の教訓を胸に～」
- ・人材育成のための授業紹介：生命科学
 - 「多様な視点から立体的な思考を目指した統合授業への試み」 竹内 潔
 - 「生命科学を専門としない学生へのICTを活用した授業運営」 佐野 元昭
- ・教育・学習支援への取り組み
大阪芸術大学／崇城大学
- ・各種事業への参加募集
- ・大学教職員の職能開発報告
- ・私情協ニュース
- ・賛助会員だより
- ・海外ニュース「2011年度 高等教育のIT問題トップテン」

(3) 海外情報の翻訳

話題性のある海外情報を紹介するため、翻訳分科会の委員4名が分担して原文を翻訳した上で2名が監訳している。翻訳内容の選定は、EDUCAUSE（米国の大学・学会を基盤とした情報通信技術の活用などを研究する民間機関で本協会も加盟している）などの雑誌や報告書をもとに、翻訳分科会からの提案に基づき、事業普及委員会が選定している。23年度は、EDUCAUSEがとりまとめた年次報告書「2011年度高等教育のIT問題トップテン(Top-Ten IT Issues, 2011)」を翻訳し、24年3月発行のNo.4に掲載した。

6-2 インターネットによる情報公開・配信・意見収集

本協会の公益目的事業の活動を社会に紹介し、理解の普及を図るため、ホームページの枠組みを事業活動に連動するよう、「望ましい教育改善モデルの探求」「情報教育のガイドライン」「高度な情報環境づくり」「大学連携・産学連携の推進」「教職員の教育力向上」「高度情報化の支援」を設定し、事業の活動状況について、活動報告としての成果物及び各種委員会の議事概要を発信している。また、個別事業の充実を図るため、インターネットを通じて意見・要望を収集するための入力サイトを設けている。